

# 6月オレンジ第2保育園だより

6月1日発行

やっと取り戻した日常の中で、子どもたちが元気に遊んでいます。

4月の初め頃に少しだけ関わった子どもが、戸惑いと不安を抱きながら先生や友達の顔をなつかしそうに感を取り戻し安心して過ごせるようになりました。

玄関先での受け入れとお迎えの対応、食事の時は少人数で向き合うことなく並列に座り静かに食べる。眠るときは頭がくっつかないように離れて寝る。鼻水を拭き取ったあと、もちろんトイレのあと、外から帰ったら手を洗う・・・一人一人が「コロナ怖いから」と意識するようしています。私たちも新しい生活形態になじみ三密をさけ日々努力しますので保護者の皆様も、先にお配りした新型コロナウイルス感染対策マニュアルをしっかりとご覧いただき守って下さるようご協力よろしくお願いします。

安心して暮らせる普通の生活を早く取り戻し、保護者の皆様とコミュニケーションを取りながら、「ともに育て、ともに育ち合う」私たちの理念が実現出来るようにこれからもお互い支え合って頑張りましょう。

**お知らせ・6月の行事予定**

- ・5日に尿・ギョウ虫検査容器配布  
※8日・9日朝10時までに回収します。
- ・19日——避難訓練・交通安全指導 ※保育園のホームページ
- ・23日——慰霊の日（休園） ブログは毎日確認し
- ・25日——お弁当会 して下さい
- ・26日——誕生祝い（パースディーメニュー）
- ・20日（土）午後職員研修（家庭保育お願いします）

**・登園は9時15分までに済ませましょう**

**食あたり注意!**

**ほけんだより**

※6月は、前期の健康診断を予定していましたが、コロナウイルスの感染要望の観点から、内科健診と歯科検診は中止となりました。今後の状況により今年度は後期に行う予定です。尚、尿・ギョウ虫検査は予定通り行います。

- ・梅雨の時期が続きます。温度、湿度共に高くなり、天気の変わりやすいこの時期は体調を崩しやすくなります。コロナウイルスの第2波にも気をつけながら体調管理に気をつけていきましょう。
- ・6月4日は虫菌予防デー、コロナウイルスの影響で6月の歯科検診は中止となりましたが、ご家庭で歯磨き習慣をしっかりと確認してみましょう。
- ・食中毒予防に努めましょう。食中毒は、じめじめした梅雨から夏に向けて多く発生します。調理するときは、必ず手洗いをして、しっかり火を通した食材や新鮮な食材を使いましょう。

**ほしぐみ**

3名のかわいい子どもたちが、泣いたり、叫んだりしながら、自分をしっかり表現しています個人差はありますが、これから1歳にむけて色々な物へ興味を示し、「指さし」が始まります。この指さし行為はとても重要な発達の日安です。あれ見て、これ何、自分と他者の関係と見る物全てが不思議な出来事なのです。

感性の表出の大事なときです。

一緒に指さしを誘導して、これ何・・・これは猫ちゃんね。「あれ何、見て見て」・「うん、飛行機だね」・・・言葉の入り口です。

**にじぐみ**

わんぱく・やんちゃの12名が、あっち行ってこっち行って、動くのが大好き、そして触って、たたいて、引っ張って、つまんで指先の機能がどんどん発達します。

この時期に、つまむ・めくる・取り出す引っ張り出す・・・この不思議な感覚が脳を刺激して指先遊びを好んで遊びます。

ハンカチや長いスカーフを何枚も結び、引っ張る押し込む、こんな面白い遊びがあるもんだ、次は引っ張ってみよう、そうやって知恵をつけていきます。遊びが脳を育て手先の器用さを育

現在、コロナウイルス感染症対策のため、子どもが密集しないように手洗い・お着替え・食事と2～3名ずつ子どもを分散して関わっており、保育士の作業が多くなり時間もかかります。

連絡帳を書く時間がとれない場合は、連絡帳の内容が特に大切な連絡のみになったり、送迎時間帯の連絡に行き届かない部分が出たりする可能性があります。

ご理解のほど、どうぞよろしくお願いします。

**そらぐみ**

「いや・いや」「自分で～」自己主張が始まり、いよいよ自立心が芽生えてきます。

自分で出来る、出来たことが達成感と自信につながり「自分の思うようにやりたい」

しかし、未だ体の機能が思うようについていかない、そして未だ甘えたい、それを繰り返してなんとか自分で折り合いをつけて次に進みます。

自分でやってみる？少し手伝う？子どもの気持ちに寄り添いさりげなく手を添えたり、声をかけることで、自分の身の回りのことも、自分で出来るようになり、身の自立が徐々に出来てきます

**うみ・かぜぐみ**

異年齢で切磋琢磨して社会性が身につく、プライドが育ってきます。

友達とのトラブルも多くなり喧嘩もしますが、お互いに気持ちを理解してまた遊び始めます。簡単なルールや約束事を作り

友達と相談したり、工夫しながら目的を達成し、年下の子は年上の子へ憧れを持ち

年上の子は年下の面倒を見たり、教えたりしながら、時には空想や想像の世界に入り

ごっこ遊びなど、役になりきって楽しんでいきます。歌やお遊戯、全身運動も盛んになり、言葉の意味もよく理解できます。